

# 順天堂大学 vs 明治大学

11月9日(日)  
13:50K.O.  
夢の鳥

前節、国士大に引き分け、ついに首位の座から陥落した順大。残り2試合、明大、専大と上位対決が続くが、自力での優勝の可能性が残されているだけに、まずはこの明大戦で勝利して可能性を残したい。

国士大戦は0-0のスコアレスドローだったが、これで3試合連続無失点。今年1年間、課題としてきた守備の部分は合格点だろう。

「引き分けることができてよかった」(吉村雅文監督) というように、粘り強さも出てきている。一方で、国士大の鉄壁の守備を前に、攻めながらも崩しきることができなかった。相手ボールを奪ってからの速い攻撃という形はしっかりとできていますが、自分たちがボールを保持しながら攻撃の形を作るには至っていないことを露呈した。明大の守備もかなり強固なだけに、いかにゴールを奪うことができるか。引き分けだと優勝は難しい状況だけに、勝点3を狙う。

いまだ後期無敗(8勝1分)の明大。前節は4位・早大との上位対決だったが、2-1で勝利してついに首位に立った。

「厳しい試合だったが、勝ってよかった。みんながあきらめず、最後まで守備の意識が高かったことはよかった」(栗田大輔監督)

時間帯によって簡単にミスをしてしまうところがあり、後半はやや押される展開となってしまったが、それでも勝ち切る強さを今年の明大は持っている。

「順大は非常に強いチームで守備も堅い。われわれは守備からきちっと入りたい。首位ということを意識せず、やっていきたい」(栗田大輔監督)

注目の首位決戦を制するのは!?  
警告3回：佐野翼(順大)、小谷光毅(明大)  
前期の対戦：順大0-0(シュート数8-4)明大

順大		明大	
2. 友澤	11. 米田	9. 矢島	2. 室屋
4. 谷奥	7. 内山 15. 青木	11. 藤本	3. 山越
21. 大畑	10. 長谷川竜	7. 差波	1. 三浦
	6. 長谷川涼	18. 苅部	
5. 新井		10. 和泉	5. 松藤
27. 毛利	19. 野田	8. 石原	6. 高橋

# 流通経済大学 vs 中央大学

11月9日(日)  
13:50K.O.  
たつこ

後期後半戦に入って粘り強さがでてきた流経大。前節は最下位の東国大戦で、前半は0-0で折り返したものの、後半に3ゴールを奪って3-0で下した。

「ピッチコンディションが悪かったので、自分たちのやりたいサッカーができる状態ではなかったが、その中で3-0でしっかりと勝つたのでよかった」

と、中野雄二監督もほっと胸をなでおろした。ここ3試合無失点と守備が安定。インカレ優勝に向けて、守備の形ができてきた。一方で、

「リスクマネジメントができていない。相手に裏を抜かれるように、まだスキがある。相手の選手をしっかり見るように修正したい」(中野監督)

と、さらに安定感を求める。「インカレまで負けない状態でいきたいので、ベストを尽くして精いっぱいやりたい」(中野監督)

前節、ついに残留圏内の10位に順位を上げた中大。ここでちょっと一息をつくわけにはいかないが、ここにきて驚異的な追い上げを見せ、3連勝と結果を出している。これを残り2試合、続けられるかどうか。

「駒大戦はハードな試合になるということは、どのチームも感じていることだし、それが分かったうえで臨ん

だ。受けるのではなく、逆にこっちが戦おうという気持ちで1週間やってきた。そのことがしっかりと出せたというのは本当にうれしい」(佐藤健監督)

守備が安定し、1-0で勝利。3試合連続無失点は選手たちも自信を持ったはず。後半27分に退場者を出してしまったが、それでも集中して守りきった。残り2試合、これを継続していだけだ。

出場停止：縣翔平(中大) 警告3回：古波津辰希、藤原雅斗(以上流経大)、岡崎亮平(中大)  
前期の対戦：流経大1-0(シュート数9-5)中大

流経大		中大	
4. 鈴木	9. 中村	23. 翁長	6. 鴨池
3. 田上	20. 江坂		18. 森重
21. 吉田	27. 塚川	8. 三島	
	25. 古波津	17. 飯干	
18. 今津	34. 安芸	11. 古橋	13. 高橋

## JR東日本カップ 2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦

# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.21-NO.20 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 残り2節で明大がついに首位を奪取!

ここにきて優勝争い、インカレ出場権争い、残留争いに動きがあった「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。注目の前節を振り返ってみよう。

首位を走る順大とインカレ出場を目指す国士大の一戦は、順大がチャンスを決めきれない一方、国士大は後半24分に退場者を出しながらも守備陣が奮闘し0-0のスコアレスドローに持ち込んだ。これで順大は首位から陥落。残り2試合にすべてをかける。

2位の明大は4位の早大との上位対決だったが、明大が和泉竜司(3年)の2ゴールで2-1と早大を下し、残り2節でついに首位に立った。早大はこの時点で優勝の可能性が消滅した。

3位からの逆転優勝を狙う専大は、インカレ出場を目指す慶大との対戦。二度リードを奪いながら追いつかれる苦しい展開のうえ、後半にはPKを失敗して崖っぷちまで追い込まれたが、試合終了直前の後半43分に勝ち越しゴール。3-2で慶大を下して3位をキープし、優勝に望みを残した。慶大は6位とインカレ出場圏外(6位はプレーオフ出場)のうえ、後期、なかなか結果が出ていないだけに盛り返しが必要だ。

残留に必死の中大は、インカレ出場に望みをつなげる駒大とのゲーム。中大が前半24分に奪ったゴールを最後まで守りきり、1-0で駒大を下して3連勝を飾り、ついに残留圏内の10位に順位を上げた。

互いに残留争いに巻き込まれている桐蔭大と筑波大のゲームは、桐蔭大が筑

**得点ランキング**

前澤 甲気(専大)	12点
藤本 佳希(明大)	10点
以下8得点5名	

**アシストランキング**

差波 優人(明大)	7アシスト
板倉 直紀(駒大)	6アシスト
仲川 輝人(専大)	6アシスト

波大を2-1で下して残留に一步前進。筑波大は11位に順位を落とし、残り2試合、厳しい戦いが待っている。

総理大臣杯で優勝し、すでにインカレ出場権を手に入れている流経大は、最下位の東国大とのゲーム。一進一退のゲームで0-0のまま試合は進んだが、後半31分に流経大がゴールを奪うと、東国大はガククリと肩を落としてしまいその後も2失点。3-0で流経大が東国大を下し、残留を確定させた。今節、東国大は敗れば2部降格が決定。引き分け以上でも、他のチームの結果次第で降格が決定する。なお、筑波大も負けた場合、他のチームの結果次第で降格が決定する。

注目の優勝争いは今節、明大が順大に勝利し、専大が引き分け以下で明大の優勝が決定。また、明大、順大、専大、早大に加えて総理大臣杯で優勝した流経大は、インカレ出場が確定し、残り一つの枠と6位のプレーオフ枠を国士大、慶大、駒大で争う。

## JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	明大	順大	専大	早大	国士大	慶大	駒大	流経大	桐蔭大	中大	筑波大	東国大	勝数	敗数	得点	失点	得失差	勝点	
1	明大	0△0 夢の鳥	1△1 301	201 201	2●3 11月15日	0●2 401	200 3△3	0●1 100	401 100	1△1 201	301 100	100 300	13	4	36	18	18	43	
2	順大	0△0 11月9日	201 11月16日	0△0 0△0	201 0△0	0●1 100	301 302	401 200	201 400	201 302	200 302	2△2 3△3	12	6	2	34	16	18	42
3	専大	1△1 1●2	1●2 味フィ西	300 11月9日	2△2 2△2	302 503	1△1 602	0●1 100	602 100	2△2 2△2	200 200	200 200	12	5	3	51	26	25	41
4	早大	1●2 1●2	0△0 0△0	0●3 BMWス	301 100	200 11月16日	301 2△2	1△1 0●1	0△0 301	201 200	100 0●1	200 100	10	5	5	25	16	9	35
5	国士大	302 ゴッテエーオナフ	1●2 0△0	0●2 2△2	1●3 0●1	0△0 1△1	2△2 201	201 4△4	100 11月9日	201 501	300 1●3	1△1 1△1	7	8	5	32	28	4	29
6	慶大	200 1●4	100 0●1	2△2 2●3	0●2 味フィ西	0△0 1△1	200 11月8日	0△0 0△0	300 200	201 0●2	100 2△2	0●2 0△0	7	7	6	21	20	1	28
7	駒大	0●2 3△3	0●1 100	0●6 305	1●3 2△2	2△2 1●2	0●2 江戸陸	300 11月15日	302 402	201 0●1	403 0●2	100 302	8	3	9	33	41	-8	27
8	流経大	100 0●1	1●3 2●3	1●2 1△1	1△1 100	1●2 4△4	0△0 0△0	0●3 ゴッテエーオナフ	1●2 1●4	100 11月9日	0●1 100	403 300	6	5	9	24	30	-6	23
9	桐蔭大	1●4 0●1	1●4 0●2	2●5 100	0△0 1●3	0●1 BMWス	0●3 0●2	201 401	201 201	1●3 1●2	301 201	200 11月15日	6	1	13	25	41	-16	19
10	中大	1△1 1●2	1●2 2●4	2●4 1●2	1●2 1●2	1●2 1●2	1●2 1●2	0●1 0●1	301 201	0△0 古河	0●1 100	0●1 100	5	2	13	21	38	-17	17
11	筑波大	1●3 0●1	0●2 2●3	0●2 0●1	0●1 100	0●3 301	0●1 2△2	304 200	100 0●1	1●3 1●2	0△0 11月15日	1△1 11月8日	4	3	13	18	31	-13	15
12	東国大	0●1 0●3	2△2 3△3	0●2 2△2	0●2 0●1	1△1 1△1	200 0△0	0●1 2●3	304 0●3	0●2 古河	100 0●1	1△1 たつこ	2	7	11	18	33	-15	13

体育会学生のための  
リクナビ就職エージェント

# 戦いの中に、成長がある。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

※布陣は前節を参考にした予想メンバー

# 東京国際大学 vs 筑波大学

11月8日(土)  
13:50K.O.  
たつこの

この試合で敗れば、1年での2部降格が決定してしまう東国大。非常に重要な一戦だが、後期に入っているが勝星なし(4分5敗)の状態だ。しかも、ここ4試合ノーゴールと攻撃陣が完全に行き詰まっている。

前節の流経大とのゲームも0-3の完封負け。「どうしても勝点3を取りたいということで、積極的に攻撃をした。こういうピッチ状況でシュートまでは結びつけたと思うが、やはりサッカーというのは決められるところで点を取らないといけない」(前田秀樹監督)

攻撃の形は作ったが、そこで決められなかった。「1失点目がすべて。あとの2点はタフな精神力がなかった。あきらめムードになった。声かけをするような後ろのリーダーがいない。流経大は後ろで声を出して戦う姿勢がうかがえたが、うちはおとなしい。残留のチャンスがなくなったわけではない。あと2戦、どうなるかわからない。切り替えてやるしかない」(前田監督)

19節終了時点で一時は残留圏内の10位まで順位を上げた筑波大だが、前節、桐蔭大に1-2で敗れ、再び降格圏の11位となってしまった。

「悔しい結果になったが、先制されても慌てずにサッカーができた」(小井土正亮ヘッドコーチ)

前半7分という早い時間に先制点を奪われながら、後半14分に同点に追いついた。しかし、そこでたまたまけられなかったのが今の筑波大の弱さだ。

「ちょっとしたスキや思い切りのなさが勝敗につながってしまった。もう勝っていかなければいけない状況。ちょっとした勇気や思い切りを出していきたい」(小井土ヘッドコーチ)

**出場停止：片岡爽、若杉拓哉(以上筑波大) 警告3回：福島遼、若井祥吾、舛田将太郎、今野太祐(以上東国大)**

**前期の対戦：東国大1-1(シュート数9-8)筑波大**

東国大		筑波大	
2. 大森	4. 加藤	20. 野口	4. 浅岡
5. 鈴木	9. 福島		8. 早川
	23. 成田	17. 中野誠	13. 斎藤
21. 今野		26. 戸嶋	1. 岩脇
	10. 若井		7. 車屋
15. 舛田	18. 進		5. 西村
12. 国井	8. 上船	10. 中野嘉	3. 三丸

# 国士舘大学 vs 桐蔭横浜大学

11月9日(日)  
11:30K.O.  
BMWス

首位・順大との前節のゲームは0-0のスコアレスドローに終わった国士大。15節で中大に5-1と大勝し、一気に波に乗るかと思われたが、その後の試合は失点が多く、4分1敗で10失点という結果。現在5位と、インカレ出場にはギリギリのラインだけに、エンジンを全開にしたいところだ。

順大戦では後半24分に退場者を出したことも影響したが、立ち上がりから守備の意識が高く、相手の攻撃をしっかりと抑えた。一方で全体のラインが低いため、攻撃に移ったときに前線までの距離が遠く、なかなかチャンスを作ることができずにシュートは前半の2本だけ。負けない戦いではあるが、勝つにはリスクを冒す勇気も必要だろう。残り2試合、2引き分けではインカレ出場権を手に入れるのは難しくなるだけに、どうやってゴールを奪っていくかが今後の課題となる。

終盤にきて残留争いに巻き込まれた桐蔭大だが、前節の筑波大との残留直接対決を2-1で制して、11位の筑波大との勝点差を4に広げた。これで、今節の結果次第では残留を決定させることができる。

「リーグ戦終盤で残留争いをしている以上、勝点を取ることに価値がある。勝ててよかった」

と、八城修監督もほっとした表情を浮かべた。前半7分に先制点を挙げながら、後半14分に同点に追いつかれる苦しい展開だったが、27分に勝ち越しゴールを奪って試合を決めた。その粘り強さは今後にもつながる一方で、

「このところセットプレーから失点しているので、そこは修正したい」(八城監督)

**出場停止：橋一輝(国士大) 警告3回：海野智之、松本和樹、近藤誠司、端駿介(以上国士大)、古澤慶太(桐蔭大)**

**前期の対戦：国士大1-0(シュート数12-5)桐蔭大**

国士大		桐蔭大	
2. 藤寄	10. 進藤	9. 今関	18. 佐々木
4. 今瀬	11. 平松	25. 鈴木	4. 古澤
	8. 松本		13. 岡本
1. 小澤			1. 土井
	6. 海野		6. 福島
27. 八木沢	12. 田中	10. 坪井	24. 時田
25. 中村	14. 佐々木	7. 山根	28. 中島

# 慶應義塾大学 vs 駒澤大学

11月8日(土)  
13:50K.O.  
江戸陸

後期開幕戦で桐蔭大を2-0で下したものの、その後は4分4敗とまったく結果が出ない慶大。決して悪い試合内容ばかりではないが、なかなか勝ち切ることができない。前期では11試合で7失点だった守備陣だが、後期はここまで9試合で13失点と多くなっているのが原因だろう。

前節は専大とのゲームだったが、前半11分と早い時間帯に失点。その後、PKから追いついたものの、さらに後半の立ち上がり5分に失点。3分後に再びPKで追いついたが、今度は試合終了間際の43分に失点と、崩される時間帯も悪い。

それでも、インカレ出場権が獲得できる5位・国士大との勝点差はわずかに1ポイント。残り2試合での逆転は十分に可能だが、7位・駒大との勝点差も同じ1ポイント。今節はその駒大との直接対決だけに勝てば大きな前進だが、負ければ一転、窮地に追い込まれる。

後期の前半戦は好調だった駒大だが、ここにきて勢いがストップ。前節は残留争いをしている中大に0-1の完封負けで、2連敗を喫してしまった。

「残念だ。最後まであきらめずにボールを奪いにいったところはよかった」(秋田浩一監督)

というように、いつものサッカーを心掛けたが、「運動量がなかった。前半は特に出だしが遅かった。となると相手のほうがテクニックが上なので、厳しい試合となるのも当然」(秋田監督)

前線からプレスをかけてもいなされてボールを取りきれず、攻撃も中途半端になってしまい、シュートもわずかに4本。その部分をしっかりと修正したい。

**出場停止：山浦新(慶大)、平尾優頼、伊藤慎人(以上駒大) 警告3回：溝淵雄志(慶大)、川岸祐輔、斎藤純平、柳川剛輝(以上駒大)**

**前期の対戦：慶大2-0(シュート数6-12)駒大**

慶大		駒大	
11. 増田	24. 長尾	14. 中村	13. 大木
2. 久保	27. 黄		32. 松島
	6. 望月		6. 唐木沢
1. 峯		12. 菊池	8. 斎藤
	18. 浅間		10. 板倉
5. 並木	17. 山本		17. 立石
3. 溝淵	7. 川田	26. 溝口	16. 柳川

# 専修大学 vs 早稲田大学

11月9日(日)  
13:50K.O.  
BMWス

19節で3位に順位を下げた専大。4連覇に向けて必死の戦いが続くが、前節の慶大戦も苦しい戦いだった。前半11分に先制点を奪ったものの、41分に追いつかれ、後半5分に勝ち越しも3分後に再び追いつかれる展開。23分にはPKで勝ち越しのチャンスがあったがこれを決められず。2-2のまま時間は過ぎていった。ただ、このところ終盤に失点することが多い専大だが、この日は必死に耐えると、43分にはPKを外した前澤甲気(4年)が名誉挽回のゴールを決めて粘る慶大を振り切った。試合内容的には決して満足のいくものではないが、終盤のこの状況では勝点3を積み重ねることが何よりも重要だけに、勝てたことが重要。

守備の部分は相変わらず不安定さがぬぐえないが、FW山川翔也(3年)が2試合連続で複数ゴールを奪うなど攻撃力は戻ってきただけに、逆転優勝に向けてさらに攻撃の質をアップさせて勝ち切りたい。

一方の早大は優勝を狙ってここまで戦ってきたが、前節、明大との直接対決に敗れ、その可能性が完全に消滅した。

「悔しい結果だ。リーグ優勝を誓いながら、達成することができず申し訳ない気持ちでいっぱい。前半立ち上が

りは、しっかりと守備の役割を決め続けて対応していた。しかし、失点のところでは中盤で定まらず、バイタルに侵入されてしまった。残念だが、そこを逃さず決めてくるのはさすがだと思う」(古賀聡監督)

インカレ出場はすでに決定。優勝の可能性は消えてしまったが、

「専大はリーグ戦では勝てていない宿敵。一つでも順位を上げて終えたい」(古賀監督)

**警告3回：萩間大樹(専大)、近藤洋司、堀田稜(以上早大)**

**前期の対戦：専大3-0(シュート数10-6)早大**

専大		早大	
5. 小口	11. 前澤	7. 近藤貴	5. 新井
6. 河津		9. 宮本	3. 田中
	40. 後藤		2. 奥山
1. 福島	7. 北出	9. 山川	1. 松澤
	8. 星野		10. 近藤洋
15. 飯田		14. 山内	4. 金沢
2. 北爪	14. 佐藤	8. 堀田	12. 八角